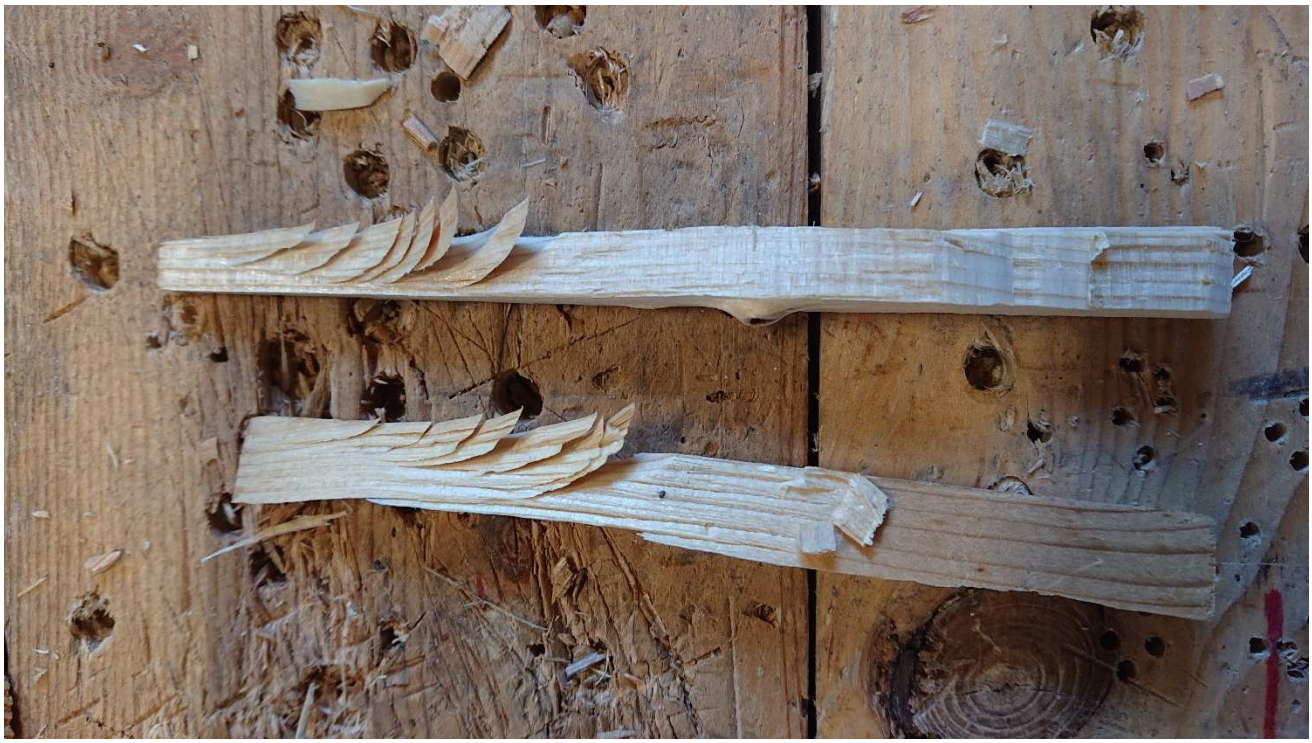
七輪体験について

七輪の火起こし（木片を使った場合）について手順を説明する

七輪に図のように木片（枝木など）を井げたに組み入れる（真ん中を空ける：要するに煙突状態）

炭はできるだけ小さなものと組み合わせて入れるのがよい（火付けがよくなる）



火だねは図のように木片の先端部に切り込み（ナイフなどで）を入れておくのがよい（火がつきやすい）

火種の枝木にはチャッカマン（マッチ）などにより着火する

火種に着火してある程度の燃焼を確認したら、図のように七輪の真ん中に火種を入れる
入れるときに、できるだけ燃焼となる井げたに組んだ木片（枝木）に触れるようにすると燃焼が
スムーズに拡散する。

このとき、燃焼元となる木片（枝木）に火が移るまでうちわなど強く風を送らないように
するのがコツで、燃焼状態を見ながら風力を調整する。

種火から木片（枝木）に火が移るとその火力で炭に火がつき燃焼する。